

26年12月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成26年 11月20日～ 26年12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は52社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/12月	27年1月	2月
仕入動向	国産材	△ 4.5	△ 16.3	△ 12.8
	外材	△ 7.3	△ 17.0	△ 11.7
販売動向	国産材	△ 19.3	△ 15.1	△ 10.5
	外材	△ 10.4	△ 11.7	△ 9.6
在庫動向	国産材	△ 9.3	△ 11.9	△ 3.6
	外材	△ 7.4	△ 16.3	△ 6.5

・製材品の仕入れは、国産材、外材共に3ヵ月連続して減少。

・製材品の販売は、国産材、外材共に3ヵ月連続して減少。

・製材品の在庫は、国産材、外材共に3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	26/12月	27年1月	2月
スギ正角(グリーン)	△ 1.4	△ 2.9	△ 3.0
スギ正角(KD)	△ 1.3	1.4	0.0
ヒノキ正角	△ 6.9	△ 1.4	△ 1.5
ヒノキ土台角	△ 5.9	△ 1.5	△ 1.6
米ツガ正角(現地挽)	12.9	21.7	21.7
米ツガ防腐土台角	10.9	22.6	19.4
米ツガ割物(現地挽)	16.1	26.7	25.0
米マツ平角	10.6	28.1	25.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	8.6	20.6	21.2
ホワイトウッド集成管柱	14.3	20.6	16.7
レッドウッド集成平角	13.2	22.7	19.4
型枠合板(輸入)	39.7	40.9	29.7
針葉樹構造用合板	△ 4.5	14.5	10.0
針葉樹構造用合板(厚物)	△ 4.8	15.0	10.7

・スギ正角(グリーン、KDとも)は、総じてほぼ保合で推移。
・ヒノキは、12月がやや弱保合の後、1月及び2月は総じてほぼ保合で推移。
・米ツガ、米マツ、北洋アカマツタルキ、WW及びRWは、為替円安等もあって、総じてやや強保合ないし強保合で推移。
・型枠合板は、3ヶ月連続して強含みで推移。
・針葉樹合板は、12月のわずかな弱保合の後、27年1月及び2月はやや強保合で推移。

(3) モニターからのコメント

<荷動き動向>

仕 入 れ 動 向	<p>東京 (米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・米マツ一般材丸太の US 物 11 月輸出価格は若干値上げの様様。日本、中国向けは低調だが米国国内向け価格が上昇し、港頭在庫も少ない。白系オールドの丸太は相変わらず出材が少なく、日本マーケットの状況に関係なく高値が続いている。・産地の価格の高止まりと円安傾向は相変わらず、仕入れのタイミングが非常に難しい。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・流通在庫が少なくなってきた。売れないながらも注意深く仕入れをしている。・12 月はロシア材、欧州材入荷多くない。1 月以後の仕事も見えないため、荷動きは良くないのに加え、現地挽き価格の上昇で日本の相場に合う物が買えない状況、今後の現地価格に左右される。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・急激な円安で値上がり予想による買いが入り、在庫不足の玉が出てきた。少ない材の手当で、やや買いが増える。 <p>しかし、需要は不振。</p> <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・必要最低限の仕入れ(材が不足のため)。・産地雨期入りで出材量少なく、製品価格は強含み、円安分のアップと合わさり更に仕入れコスト上昇。・現地価格が下ならず、仕入れは厳しい。これ以上の円安が進むと売値に転換できず利益を削る商売となる。 <p>(広葉樹等問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・北海道産材小径原木も値上がり。北洋材原木入荷止まったまま 6 ヶ月目に入った。原料不足が大きい問題になっている。 <p>(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・国産材新材が始め良品が多いが、今の市況では積極的に買えない。・国産材産地は原木の仕入れに苦労。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・円安の影響が現れ始めた。・需要が増えそうにないので、仕入れも減少傾向となりそう。・円安で大きく振れているため様子見である。・入荷減少で心配していたアカマツ 3m 物も何とか見通し立つ。国産材、外材共に通常在庫にとどめる。・決算後のため 12 月は少し増やしたい。・急激な円安が続いており、外材の値上がりがとても気になる。・荷動きがない、お客様の現場の区切りの影響もあるが。・ハウスメーカーでのエゾタルキの使用量が多いため回転が良い。 <p>大阪 (仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・在庫が余り気味で仕入れが減少している。・今月に入って仕入量を増やしている。 <p>東海 (仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none">・仕入れは減少傾向に。・一戸建ての減少が大きいいため構造材の動き、特にヒノキは動かない。来年(1 月、2 月)もこのままの状態が続くと思われる。原木は最低値に落ち込んでいる。
-----------------------	--

販 売 動 向	<p>東京 (米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・米マツ丸太の国内京浜マーケットではメーカーの丸太消費が益々減少傾向にある。問屋も大幅な円安から現物の価格を少しでも値上げしたいところだが、マーケットに受け入れる余裕はない。・師走の声を聞き若干仕事が出ているようであるが、まとまった注文は少ない。徹底した当用買いは変わらない。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・12 月は実働日数少なく、仕事も細かい物のみ、来春の仕事が見えないため先々の入荷コストは値上がりも、仮需の動き少なく、仕入れの上昇をなかなか売りに転嫁出来ない状態が続いている。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・12 月から 2 月までは売上減少を予想、消費税増税延期で駆け込みなく例年通り冬場は悪いと思う。 <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none">・程々の売上げあり。・見積件数は増加しているものの出所元は限られており、その結果急ぎの納品が多い。・年末に向けての駆け込みの仕事が増えている。集成材の在庫は少なく、引き合いは活発。 <p>(広葉樹等問屋)</p>
------------------	--

販売動向	<ul style="list-style-type: none"> ・道材、北洋材共に引き合い少ないが、原木不足の影響が大きく価格転嫁急がれる。 <p>(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スギ材、桧材関係は売れるもののそれ以外の造作材は動き悪し。仕入れを控え、やりくりしている。 ・構造材は1本、2本という動き、注文材は動きなし。 ・盛り上がりのないまま年末を迎えそう。 ・荷動きは落ち着く所に到達した感ありで、これ以上の落ち込みはないのではないか。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月頃より減少に転じ、年内はこのまま推移しそう。 ・売上げは12月から動きが悪い。 ・工務店地場の物件が少ないためか、遠距離配送が増えている上に現場自体は小規模化。 ・売上げの回復がなかなか。 ・大きな現場は大体落ち着き、細かな動き。 ・12月～2月は休み多く期待出来ず。 ・現場数はあるものの、細かな仕事ばかりで厳しい状態が続いている。 ・全体的に大きく鈍り。 ・見積もりも含めて大きい現場の予定がなく、特に地元の工務店が動いていない。 ・入ったら出て、入ったら出て(エグタルキ)が当分続きそう。 <p>大阪</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1戸建て、建前が数件有り、少しは忙しくなるかも。 ・注文少なく、在庫のみ販売。 ・先月よりは増えないが、昨年ほどではない。 <p>東海</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末年始にヒマになるが、1月末より荷動きが活発になると予想。 ・来年に向けやや減少傾向。 ・価格は安いながらも余分に買える状況になっていない。当面は必要な分のみ(当用買いに)終始すると思われる。
在庫動向	<p>東京</p> <p>(米材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入荷調整を進めているため米材原木の不良在庫は見当たらないものの、大幅な円安から今後の入荷に不安を残す。 ・在庫はほとんど増減なし。グレードによっては欠品が出ている。 <p>(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月入荷は少ないが、荷動きも低調なため在庫に変化なく、来年の契約少なく入荷減となる。荷動きも良くない見込みで在庫持てない状況。 <p>(集成材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫は、現状維持の予定。 <p>(中国・南洋材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低位、横ばい。 ・新規入荷がないままで非常にバランスが悪い。 ・思うような仕入れが出来ないため在庫は減少している。 <p>(広葉樹等問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サイズ欠品が業界全体で出ている。欲しい時に欲しいサイズが手当出来なくなる状況。 <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外材は値上がり傾向にあるが、需要が冷え込んでいるので特に増やさない。 ・外材は値上がり傾向の模様、やや在庫を増やす。 ・決算のため在庫を整理。 ・決算後のため12月は少し増やしたい。 ・急いで仕入れるものはなく、通常通りだが、納期のかかる物は早めに注文する。 ・国産材は古い在庫を出していくために減少気味。 <p>大阪</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入材は多めに置きたいが、それほど買えない。 <p>東海</p> <p>(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月～1月は余分に持つ必要ない。営業日が少ないので無理して在庫は持てないが、2月は3月の動きに備えて多く仕入れる予定。

〈価格動向〉	
スギ正角	<p>東京(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格は縮小均衡の中、無風状態。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保合。 ・グリーン材は動き悪い。 ・スギはしっかりしている。 ・保合。 ・保合。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段横ばい。 ・落ち着いている模様。 ・荷動きも今ひとつで価格もそれほど変化なし。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KD材は、輸入材に影響されるので、現状の為替(円安)ではある程度上げざるを得ない状況になっている。
ヒノキ正角 土台角	<p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保合。 ・構造材全般に動き悪い。 ・落ち着いて来た。 ・弱めながらも相場は保合。 ・保合。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内地材、値段横ばい。 ・品物あり、全体に落ち着いている。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上がる要素が見あたらない。 ・正角は、相場は下げるところまで下げているので、現状の仕事状況では変わらない。 ・土台角は、売れ行き不振が続いており、最低値まで下げてしまったので横ばい状態が続くと思う
米ツガ	<p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正角は円安、現地高でコストは大幅上昇だが、荷動き良くないため値上げは小幅となりそう。 ・防腐土台角がコストは上昇しているが荷動き悪く、各メーカーがどこまで値上げ出来るか。 ・割物はコスト高で入荷量も少ないため高値でも買いが強くなる見込み。 ・円安の影響も、動き悪いので横ばいの傾向か。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響で値上がりを予想。 ・品薄感が強い。 ・材は動いてないが、円安で上げ。 ・強めながらも相場は保合。 ・円安でどうなるか判らない、高くなるのは間違いないだろうが、この荷動きの鈍さで高くして売れるのだろうか？ ・105×45に欠品が生じている。45×36の品物が良材不足。 ・輸入材はドルが強いために強保合の予想。 <p>大阪(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土台以外はほとんど流通していない。 <p>東海(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安、現地高に伴い値上げの話も。
米マツ平角	<p>東京(外材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・為替が円安のため強含み。 ・現地原木価格上昇はあるものの円安でコストアップは止まり、荷動き悪く値上げが厳しい状況。国内大手メーカーが上げれば上昇の見込み。 <p>東京(仲買・小売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響で値上がりが予想。 ・材は動いてないが、円安で上げ。 ・保合。 ・保合。 <p>東京(国産材問屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GRN材 1,000円/m³の値上がりアナウンスあり。 <p>大阪(仲買・小売)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・円安のため輸入材値上がり、見積もりに困る。 ・グリーンが先に上がったが、KDも時間の問題。 東海(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・円安、現地高に伴い値上げの話も。
北洋アカマツタルキ	東京(外材問屋) <ul style="list-style-type: none"> ・円安でコスト上昇、良材不足から良材メーカーの物は上昇、中級以下のグレードもコスト高で安売り出来ない状況になっている。2月までは入荷も増えない見込み。 東京(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響で値上がりを予想。 ・月末から上昇傾向。 ・材は動いてないが、円安で上げ。 ・強めながらも相場は保合。 ・AAランクの品薄感。 ・やや強いが保合。 大阪(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・円安で2,000円/m3の値上げ。
WW・RW 集成材	東京(外材問屋) <ul style="list-style-type: none"> ・集成平角は円安が進み、強気になってきた。 ・今後円安でコストアップとなるものの荷動き悪く、なかなか上げられない状況。国内メーカーの動きで上昇もある。 ・円安ではあるが先物契約単価が安いいためコストは横ばい、荷動きによっては弱含みも考えられる。 東京(集成材問屋) <ul style="list-style-type: none"> ・需要はたいしたことないが、円安のため川上より値上げ。 東京(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響で値上がりが予想。 ・材は動いてないが、円安で上げ。 ・WWは、弱保合。 ・保合。 大阪(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・WW小割3,000円/m3の値上げ。 ・一部値上がりが始まる。来月は上げ幅が大きくなりそう。
合板	東京(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・円安の影響で値上がりが予想。ラワン系の合板に引っ張られて針葉樹に先行、強保合になると思う。 ・輸入ラワン合板が強いが、針葉樹とどう引っ張りあうか。 ・輸入は総じて上げ、針葉樹も下げ止まりから上げ。 ・ベニヤは全般的に強く、円安の影響は確実に値上がりすると聞く。 ・少しずつ上昇中。針葉樹合板は横ばい。 ・コンパネは上昇が続いており、ベニヤ薄物も含め値上がり傾向。 ・型枠用は強い。 大阪(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・ラワン材引き続き上昇傾向。 ・先月まで値上がり傾向が、今月に入り高値で安定している模様。 ・国産合板の値上がりはブレーキがかかった感じ、大きく反発することはなさそう。 東海(仲買・小売) <ul style="list-style-type: none"> ・ラワン合板の値上げ幅がキツイ。 ・11月～12月若干の値下げだが、底打ち感もある。